

ファイナンシャル・アドバイザー協会活動のご紹介

(2020年9月25日)

【 講演原稿 】

皆様こんにちは。一般社団法人ファイナンシャル・アドバイザー協会理事長の中桐です。この度、協会の委託正会員である証券会社様のご協力の下、金融商品仲介業者の皆様に対し、私たちの協会についてご紹介する機会を設けました。これより、資料を使いながら、協会の活動内容などについてご説明したいと思いません。

【 2 ページ 】

目次をご覧ください。まず、本邦の金融商品仲介業者に係る課題認識をご説明したのち、協会組織体制をご説明するとともに、協会の役員や各種会員を簡単にご紹介させていただきます。その後、協会の今年度事業計画の概要をご説明したのち、今年4月以降に実施した具体的な活動を個々にご説明し、協会加入のメリットをお伝えしたいと思っております。

【 3 ページ 】

さて、現状、ファイナンシャル・アドバイザーである金融商品仲介業者の殆どが小規模な事業者として個別に活動する中、より質の高いサービスの提供に欠かせない情報や研修の機会が不足しており、専門性や提供役務の水準等も事業者によってまちまちとなっております。また、ファイナンシャル・アドバイザーは一般国民からの認知度が低く、ファイナンシャル・アドバイザーの普及に必要な土壌が十分でない状況にあります。

このような課題認識のもと、私たちの協会は、ファイナンシャル・アドバイザーが真にお客様の立場に立ちアドバイスを行うための業務支援と、日本におけるファイナンシャル・アドバイザーの普及促進を目的として、今年1月に設立しました。

【 4 ページ 】

今年3月より会員募集を開始しており、現在、法人の金融商品仲介業者が18社加入しております。このうち、定量・定性項目の審査を経て加入した正会員が15社、また、正会員としての承認は得ていないものの、協会の目的に賛同して加入した法人アソシエイトが3社となっております。

この18社をトータルしますと、所属外務員数は約650名、お客様の口座数は

約 10 万口座と、それなりの規模となっております。

このほか、彼らを業務面で支える委託証券会社が 7 社加入しています。さらに、内外の運用会社や情報提供会社など 26 社が、様々な面より、協会活動を支援しております。

【5 ページ】

協会の役員をご紹介致します。協会理事には、発起メンバーである金融商品仲介業者 4 社の代表取締役、すなわち、GAIA の私、中桐のほか、SBI マネープラザの太田理事、Fan の尾口理事、ファイナンシャル・スタンダードの福田理事に加え、外部有識者より、一橋大学の本多教授と NRI アメリカの吉永氏が理事に就任しております。本多教授は証券投資、資産価格モデルなどに精通し、吉永氏は、米国におけるファイナンシャル・アドバイザーの実状に精通しております。

そのほか、監事には、委託正会員より 1 名、エース証券の東谷氏、審査委員には、外部有識者 2 名、中央総合法律事務所の錦野弁護士と監査法人トーマツの三原ディレクターが就任しております。錦野氏、三原氏ともに、金融庁において金融機関の検査・モニタリングに従事した経験を持っております。

【6 ページ】

金融商品仲介業者の会員は、先ほどご案内の通り、定量・定性項目の審査を経て加入した正会員が 15 社、また、正会員としての承認は得ていないものの、協会の目的に賛同して加入した法人アソシエイトが 3 社となっております。本社所在地は関東地区 8 社、東海地区 4 社、関西地区 2 社、その他地区 4 社と、全国に分散しております。なお、近々、関東地区の法人アソシエイトが 1 社加入することとなっております。このほか、協会の目的に賛同して加入した個人アソシエイトが 3 名在籍しております。

【7 ページ】

また、委託証券会社 7 社が協会の目的に賛同して委託正会員として加入し、協会の活動を後援しています。

【8 ページ】

このほか、協会の目的に賛同した運用会社や証券会社、保険会社、営業ツール提供会社、投信評価会社、情報提供会社など 26 社が法人賛助会員として加入し、協会の活動を後援しています。現在、加入検討中の社も複数あり、さらに協会活動の支援者が増える見込みです。

【9 ページ】

これより、今年度の協会の事業計画をご説明します。今年の6月までは、当初会員の募集のほか、既定の整備や会員審査体制の整備、ホームページの構築、専用事務所の設置など協会の体制固めを行ってきました。そして7月より、会員の認知度向上や専門性の向上、会員の業務支援を図るべく、本格的に活動を開始しております。

【10 ページ】

これまで行ってきた活動内容を具体的に申し上げます。まず、金融商品仲介業者の認知度向上として、メディアに対し広報活動を行い、協会の設立目的や各種分科会の活動等に係る記事を掲載してもらいました。これまでに、日経新聞やQUICK、保険毎日新聞、ファンド情報、金融ファクシミリ新聞、MaDo、ニッキンなどに記事が掲載されております。

また、委託正会員である楽天証券が7月に主催した一般投資家向けのオンライン投資セミナーにおいて、私より協会活動の紹介を致しました。さらに、5月に報道関係者を集めた協会活動の説明会を開催したほか、8月には、金融庁幹部に対し、足元の協会活動状況の報告を行っております。このほか、5月末に協会のホームページを立ち上げ、様々な情報発信を開始しております。

なお、現在、外部の専門業者に委託して、一般投資家向けと金融商品仲介業者向けに協会活動紹介動画を制作しており、10月下旬に配信を開始する予定です。

今後も様々な角度より広報活動を行い、会員ひいては金融商品仲介業の認知度向上に努めて参る所存です。

【11 ページ】

次に、金融商品仲介業者の専門性向上を目的として、協会が主催する研修テーマの洗い出しのほか、講師の選定、研修運営支援先の選定、研修手法の検討を行う研修分科会を9月に立ち上げました。会員である金融商品仲介業者のこれまでの経験、知見を共有する形で、実例を使った営業テクニックや業務に関連する専門分野の習得を目指します。

現在検討中の研修項目を一部ご紹介しますと、「マーケティングにおける具体的な成功・失敗事例研究」や、「顧客本位の業務運営に資するガバナンス・コンプライアンス体制、資金調達方法、社員採用・育成手法、報酬体系の事例研究」、「IT戦略、テレワーク、オンラインビジネスの事例研究」、「海外のIFA事情・当局規制」、「本邦の当局動向・規制対応」などがあります。

なお、この分科会には、正会員・アソシエイトのほか、委託正会員・法人賛助会員もオブザーバーとして参加しており、25社の40名強がメンバー登録しています。今後、月次で検討を進めていく予定です。

【12 ページ】

次に、金融商品仲介業者の営業支援として、8月に営業支援ツール分科会を立ち上げました。

まず、今年12月までを目途に、各ベンダーが金融商品仲介業者に提供している既存ツールを対象に、CRMやファイナンシャルプランニング、アカウントアグリゲーション、ポートフォリオ分析、運用モデル／商品提案作成、文書管理等の機能ごとに比較分析や評価を行う予定です。併せて、海外（米国）におけるアドバイザー向け営業支援ツールの情報収集のほか、既存ツールの協会会員に対するボリュームディスカウント交渉なども行うことを考えております。

その後、来年3月末までを目途に、既存ツールの課題や改善ポイントの洗い出しを行い、それを踏まえて、ベンダーに対し要望書を提供することを目指します。

この分科会においても、正会員・アソシエイトのほか、委託正会員や複数のベンダーを含む法人賛助会員がオブザーバーとして参加しており、30社の50名強がメンバー登録しています。

【13 ページ】

金融商品販売に関する当局規制についても理解を深めながら対応を検討していく所存です。例えば、金融庁が8月5日に公表した「金融審議会 市場ワーキング・グループ報告書 - 顧客本位の業務運営の進展に向けて-」に関し、8月25日に同ワーキング・グループのメンバーであるセゾン投信株式会社の中野会長をお招きし、会員向けにポイントを解説して頂きました。ちなみに、セゾン投信は、当協会の法人賛助会員です。

また、金融商品仲介業者にも少なからぬ影響を及ぼすと思われる来年施行予定の「金融サービス仲介法制」に関し、8月31日にウエストロー・ジャパン株式会社と大江橋法律事務所とが共催してオンライン勉強会を開いた際には、会員に対し事前に開催案内を行い、多くの会員に視聴してもらいました。

加えまして、今後、当局に対する会員からの要望を取り纏め、当局に対し提案することも考えております。

さらに、金融商品仲介業者の資金調達手法の多様化支援として、信用保証協会融資適用に向けた当局折衝などを行っていく予定です。

【14 ページ】

このほか、会員間の情報共有を図るべく、意見交換会を実施しております。6月と8月に各会員と理事・監事の意見交換会を行い、今後の協会活動について議論し、方向性を確認し合ったほか、7月に理事座談会を開催し、ファイナンシャル・アドバイザーのあるべき姿や協会の果たすべき役割などについて理事間で話し合いました。

今後も、こうした意見交換会を定期的で開催し、会員の意見を反映した協会運営を行って行きたいと思っております。

また、近々、事務局よりニュースレターの配信を開始するつもりです。金融商品仲介業者の業務運営に役立つ情報を幅広く配信できるように努めて参る所存です。

【15 ページ】

最後になりますが、先ほど申し上げました通り、5月29日に協会のホームページを立ち上げました。「FA協会」で検索して頂ければ、容易に見つかると思います。ホームページでは、私たち協会の内容について、さらに詳しい情報を掲載しております。また、会員募集の申請も協会ホームページで受け付けておりますので、正会員として加入しよう、あるいは、とりあえずは法人/個人アソシエイトとして加入しようと思われる方は、是非、ご連絡頂きたく存じます。

これからも、金融商品仲介業者の皆様にとって価値ある協会となるよう活動して参りたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

以上